

平成27年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金（活動記録）

活動実施日時			活動参加人数		タイプ	取組	写真番号
実施年月日	実施時間						
	時間帯	実施時間	構成員	構成員以外の参加者			
5月9日	8－17	6	3		地域環境保全	大用沢と岩碓沢を踏査し今年の計画立案	1
5月16日	8－17	6	5		地域環境保全	岩碓沢作業道の踏査と保善作業	2
5月23日	8－17	6	5		地域環境保全	同上	3
5月30日	8－17	6	4		地域環境保全	同上	4
6月7日	8－17	7	6		地域環境保全	新山堂の下刈り作業	5
6月14日	8－17	7	15	25	地域環境保全	黒森古道開通祝賀登山、金沢－黒森山	20
6月20日	8－17	6	7		地域環境保全	岩碓沢作業道の踏査と保善作業	6
6月27日	8－17	6	4		地域環境保全	同上	7
7月5日	8－17	6	5		地域環境保全	同上	8
7月18日	8－17	6	5		地域環境保全	同上	9

7月25日	8-17	7	4		地域環境保全	茨島の作業道の保善作業と下刈り	10
8月2日	8-17	7	7		地域環境保全	同上	11
9月12日	8-17	7	6		地域環境保全	岩碓沢作業道の踏査と保善作業	12
9月19日	8-17	7	4		地域環境保全	同上	13
9月26日	8-17	7	6		地域環境保全	大持沢と岩碓沢作業道の保善作業	14
10月4日	8-17	7	6		地域環境保全	岩碓沢作業道の踏査と保善作業	15
10月10日	8-17	7	4		地域環境保全	同上	16
10月17日	8-17	7	6		地域環境保全	同上	17
10月24日	8-17	7	6		地域環境保全	大持沢地域の保善作業	18
10月31日	8-17	7	6		地域環境保全	岩碓沢作業道の踏査と保善作業	19

作業写真整理帳

写真番号： 1



取組内容	今年度最初の山入り。昨年開拓した古道を全部踏査し、雪害などの被害状況を把握し、今年度の仕事の計画を立てる。人が楽に歩けるようにするには、湿地帯や急な崖などに対して工夫が必要だ。
------	--

写真番号： 2



取組内容	芳碓沢北側の作業道の保善作業を行った。杉の倒木処理、灌木の伐採、作業道を整備した。約1キロメートル前進した。
------	--

写真番号： 3



取組内容	熊の寝床（巣）から東に向かう作業道が見付からないので、新たなルートを探索し、作業道を作った。下刈り、藪払い、間伐、集積処理を施す。水道の北側の場所。
------	--

写真番号： 4



取組内
容

岩碓沢北面の古道を開拓する。竹藪を払い、灌木を伐り、人が通れる道を拓いた。急な坂にはロープを張った。ロープは効果靚面だった。キャタピラを使用し作業効率を図った。

写真番号： 5



取組内容

糸畑台の作業道の草刈り作業と集積処理を施す。

写真番号： 6



取組内
容

御嶽ー黒森登山道から左折し金沢に至る古道を見付ける。その後、その古道を辿って道を作る。しかし、200メートル進んだ所で道を失った。それ以降を探索する。

写真番号： 7



取組内
容

遂に岩碓沢で黒森からの古道と金沢からの古道が出合った。記念すべき地点で記念写真を撮った。下刈り、藪払い、集積処理を重ねてようやく辿り着いた。GPS値も一致した。

写真番号： 8



取組内
容

先週同定した古道を歩けるように整備した。途中、かつてブルトーザが通った道があるが、その道から分岐する地点が重要だと分かった。

写真番号： 9



取組内
容

岩碓沢の三叉路の北側の道を開拓した。倒木、藪払い、下刈りをしながら道を作る。約400メートル進んだが、その先が不明である。

写真番号： 10



取組内容

糸畑台、三分長根、大持沢の草刈りと集積処理を行う。背丈まで伸びた草を刈り、約2キロメートル進んだ。

写真番号： 11



取組内容

黒森古道の三日月沼周辺で杉の巨木を発見した。千古杉と命名し、その周辺を整備した。直径約6メートルあった。樹齢は500年から千年位と推定される。

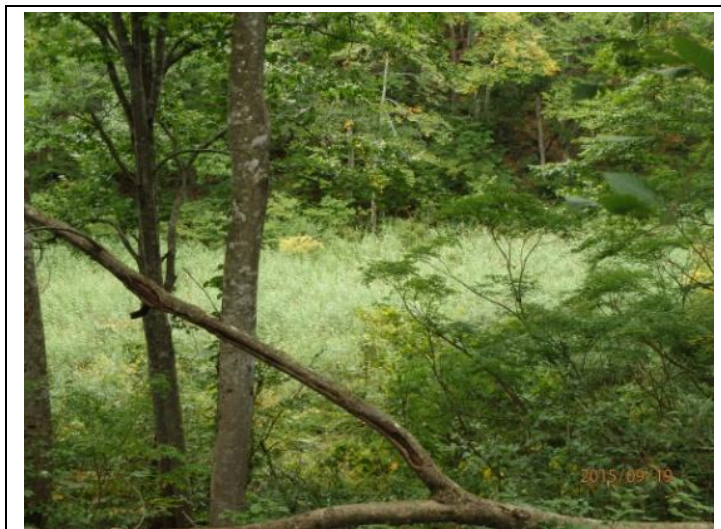
写真番号： 12



取組内容

大持沢の熊の寝床から林班2小班15へ至る作業道の同定と道作りを実施した。2キロメートル以上の遠い道のりだった。下刈り、藪払い、草刈り、集積処理。

写真番号： 1 3



取組内容	岩礫沢の林班 2 小班 1 5 は 500M× 100M という広範囲 の領域である。この 領域の北端まで踏査 し作業道の位置を設 定した。北端は窪地 になっており、水溜 りの湿地である。
------	--

写真番号： 1 4



取組内 容	熊の素から林班 2 - 1 5 に至る作業道の 保存作業を行う。途 中、杉の倒木、藪な どがあり、作業は困 難を極めた。この周 辺の杉は手入れが為 されておらず伐採す るしかない。
----------	--

写真番号： 1 5



取組内容	林班 2 小班 9 の領域 内に作業道を作成す る。道の探索、下刈 り、藪払い、集積処 理を施す。領域の東 端に峰の老松と名付 けた古木の松を発見 した。樹齢 5 0 0 年 以上と思われる。
------	--

写真番号： 16



取組内容	先週に続き 2－9 小班の作業道の開拓を行う。発見した峰の老松の手入れも行う。ここから金沢地域を一望できる。周囲はサラサドウタンとモミジの原生林である。
------	--

写真番号： 17



取組内容	2－9 小班の東端から西端までの道を作った。東端から 100 メートル西に進むとモミジ林からブナ原生林に変わる。標高が 600 メートル前後である。標高により植生が変化することが分かる。
------	---

写真番号： 18



取組内容	大持沢の作業道でチップperを用いてチップを作成した。作成したチップを作業に敷き詰め、道の保全とした。ぬかるみの道が改善され歩き易くなった。チップperの威力をよく理解できた。
------	--

写真番号： # 1 9



取組内
容

巨木三本周辺と
崩壊沢の作業道
の保善作業を行
った。来年は崩壊
沢の頂上から降
下して熊の素ま
での作業道を作
り、その周辺の山
林の整備を行い
たい。

写真番号： # 2 0



取組内
容

金沢ー黒森山間
の古道が開通し
たのを記念して
登山を実施し
た。千葉県我孫
子から「安孫子
山の会」登山隊
が参加してくれ
た。皆で作業道
の保善作業をし
ながら山野を楽
しんだ。